

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	COCOnoWa			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 11日 ~ 令和7年 2月 15日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	28名	(回答者数)	25名	
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 11日 ~ 令和7年 2月 15日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	8名	(回答者数)	8名	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられている。	ミーティングなどで共有を行うことで、互いに色んな視点からの気づきが共有でき、より質に高い支援を行うことができている。	専門性を明確にし、高めていくようにしていく。
2	児童発達支援計画に沿った支援が日々のスタッフの話し合いや、保護者のニーズに合わせながら、より細かく行われている。	面談後に職員間で保護者様とのモニタリングの内容の共有を行うことで、事業所全体でこども一人一人のニーズが明確となり、また作成後も定期的に目を通すことで、周知と振り返りができる。	固定のスタッフだけではなく、児発管と共に色々なスタッフにも面談に参加していただく機会を設け、色々な視点からの会話を多く作っていく。
3	日頃から子どもの状況を保護者様と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができている。	送迎時に日々の様子をお伝えすると共に、電話又はLINEなどを活用し、気になることなどがあれば、すぐに連絡等を取り合っている。	引き続き迅速に行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の場や、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援について	お迎え時に保護者様同士の交流はあるが、事業所としての交流会は企画していない。	家族が参加できるイベントなども検討していく。
2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているかについて	保護者様への避難訓練の様子を詳しくお伝えできていない。	お散歩などのおでかけの際に、指定避難場所までの避難経路の確認を含めたお散歩を定期的に行っていく。また保護者様にも送迎時にどのようなことを行ったのかなど、より丁寧にお伝えしていく。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信について	現状、SNSでの情報発信は行っていないが、スケジュールにて行事の案内や連絡帳にて日々の様子をお伝えしている。	ホームページにて、保護者様がいつでも自己評価の結果などを見ることができるよう提示していく。

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	COCOnoWa	公表日	令和7年 3月 31日
		利用児童数	28名
			回収数 25名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	0	0	4	他所と比べて広く感じます。また動線も確保されています。	見学時などに事業所内を見ていたいしているが、より丁寧にお伝えしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	0	0	1	手厚く、子どもたちの様子を見て、しっかりと対応してもらっています。	見学時などに伝えているが、より分かりやすく、ご理解いただけるように伝えています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1	0	2	自分の名前の場所があるのか、ちゃんと靴・荷物を片付けています。	トイレは広く、段差もなくスペースは広く確保しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1	0	0	いつも片付いており、清潔です。	今後も清潔で、安全な空間を提供できるように努めます。又、感染症対策の徹底を引き続き行なっていきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1	0	0	本人のできることが増え、すごく楽しそうにしている為、そう感じる。また良いところを十分に見つけて下さっています。	専門性を明確に高めていくようにしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	0	0	0	すごく細かい部分まで、プリント等でお知らせしてくれます。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24	1	0	0	詳しく聞き取りを行い、子どものことを見て、その上で計画を立て下さっています。	保護者の方々から日々の様子等をお伺いし、一緒に確認しながら作成できるよう努めます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1	0	1		個別支援計画の作成の際、より丁寧にご説明するように努めます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	1	0	0	毎週違うことをさせてもらい楽しく有難いです。	今後も色んな体験をし、楽しんでいただけるように取り組んでいきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	2	8	他の地域の同事業所との交流などがあります。	機会を設けられるよう、検討を行なっていきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0	送迎時の対応の仕方も助言して下さっています。	契約時に分かりやすく、説明するように努めます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	4	4	7	家でもできる支援について、提案して下さいます。	家庭支援・相談に対応しています。更なる保護者のレスパイトの強化を図り、家庭支援の質を高めていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	0	0	0	精神面も含め、身体のことも気にかけてもらい安心しています。	今後も保護者の方と情報共有を行なながら、事業所での様子もお伝えさせていただきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2	0	0	困っていることを伝えると、具体的にアドバイスをもらえ、助かっています。	今後も面談等を通して、ご家庭での困り事等の解消に努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	0	0	1		今後も成長が見られた際、今後の課題を含めてお伝えできるように取り組んでいきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	7	11		時期をみて、保護者会として立案できるようにしていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	2	0	2	必要に応じて、相談機関の紹介や対応をすぐに対応していただきました。	対応は迅速に進めていき、支援を進めていく中での提案をより多く行っていけるように努めます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	2	0	0		引き続き継続して、迅速に対応していきます。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	0	0	5	LINEや用紙で発信して下さいます。	定期的に配布している活動概要またHPもあり、再度記載内容の周知を行っていき、取り組み内の向上にも繋げていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	0	0		鍵付きの書庫に厳重に保管し、持ち出しなどないように徹底しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2	0	9	説明を受けているが、訓練をしているかは知らない。	事業所にて常設、今後も契約時の説明を行っていきます。更なる周知の方法を検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1	0	14		定期的に避難訓練は行っています。情報発信に努めています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	2	0	1		事業所にて常設、今後も契約時に一層分かりやすく説明するよう努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1	0	4	電話・LINEなどで細かく説明があり、すぐに連絡があります。	今後も引き続き対応は迅速に進めていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	0	0	1	笑顔で通っています。	引き続き安心して過ごしていただけるように、より信頼関係を構築してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	1	0	3	先生の名前を出し、楽しみにしています。	引き続き楽しめることを作っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	0	0	0	家族への支援や子どもの楽しみ成長に繋がっており、満足しています。	今後も個々に合った取り組みなど、支援を行っていきます。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	COCOnoWa
------	----------

公表日 令和7年 3月 31日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	感染症対策を含め、使用したおもちゃ等においても消毒や事業所内の換気の徹底を行っている。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	ミーティングを通し、利用者の進捗状況の把握を日々行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	評価表だけでなく日常的にもお話しを伺っているので、引き続き支援や業務改善に繋げていく。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		外部評価を行っていないが、行った際には、改善に至る経緯の周知を強化していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	定期的に行っている。	更にスタッフ間で共有していく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	定期的に行っている。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	担当者会議にて共有や分析を行うようにしている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		現状保護者のニーズや学校での課題など「家族」「地域」に示す支援内容の作成はできている。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	意見を出し合い改善を行っている。	引き続き向上を図り、活動内容を深めていく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	子どもが楽しめるよう考えている。	引き続き向上を図り、活動内容を深めていく。

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		個別・集団活動等に関して計画や支援にて行っている中で、計画と支援内容の整合性を高めていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		引き続き、朝のミーティングにて行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		引き続き、夕方のミーティングにて行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	日報だけでなく個人の気づきに関して記録を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	区役所の子育て支援室と必要に応じた連絡を取っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	支援会議等に参加や情報提供を行うようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	進学・進級時支援会議等に参加している。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0	他事業所での様子など支援の方向性を共有している。	相談支援事業所を通して他事業所との連携を深めていき、共有事項を増やしていくようにしていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0		
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	連絡帳だけでなく送迎時に口頭でも状況や様子を伝えている。	
△	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	保護者と話す際に親子でできる内容など隨時お伝えしている。	引き続きスタッフ間でより深めていける研修を行っていく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
△	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	相談を聞いた際には、スタッフ間で共有を行い、話し合いを行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8		保護者同士で会話をする機会があり、情報交換等行っている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	朝・夕方のミーティングにて共有を行うことで漏れを少なくし、対応方法の相談や共有をするようしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に對して発信しているか。	8	0	毎月行事予定を記載し発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	鍵付きの書庫にて厳重に保管を行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	絵カード等の利用や提案を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	いつでも見ていただけるように工夫している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	マニュアルの確認を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	定期的に子どもたちに災害時の話をしている。	実際に避難する回数を増やしていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	病院からのアレルギー表等を頂くようしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	定期的に行っている。	定期的には行っているが、事例検討や事例の共有など事案があれば都度行っていくようにしていく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	該当児はないが、研修や委員会などを開いて周知を行っている。	